

景況実感調査(2018年3月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適切な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 実働21日と、対前月比2日増も期末要因もあり売上、数量とも横ばいとなった。店売り市場はメーカーのロール遅延の影響もあまり切実感が感じられないほど落ち着いている。足下の円高や米国の保護主義政策の影響が新年度の業績に与えるダメージが心配。人手不足による賃金引上げは不可避であり、物価もジワジワと上がり始めており、建設、物流関連のコストアップは深刻で、鋼板加工分野でも値上げアナウンスも強く、お断り価格の提示も散見される。
- ② 荷動きにかかったさがあり、特別タイト感もなく、物静かな状況である。紐付きユーザーは好調な半面、その他協力会社との温度差がある。電話の鳴りもさみしく、少し心配ではあるが一時的だと考えている。
- ③ ユーザー売りは好調であったが、仲間売りに関しては引合いが少なかった。自動車向けの価格が据え置かれ、店売りの値上げが難しい状況ではあるが、荷動きとは関係なく実施しなければならない。

中板

- ① 1月、2月と店売り市場に停滞感が漂った中、3月に若干戻った印象もあるが、依然として二次三次特約店の購買意欲は冴えない。自動車、建機、産機が堅調である一方、オリンピック物件の工事遅れもあり、緊急対応(短納期)の小ロット受注だけが増えている。市況も2月末の薄板三品在庫量の横這いに象徴されているように踊り場的な様相を呈し変化はない。また、ユーザー価格への転嫁についても相変わらず自動車及び一部紐付き価格の値下げ情報が一般ユーザーにも伝わり、足かせとなっているのが実情である。

厚板

- ① 全般的に好調をキープしているが、販売価格がメーカー値上げ分にまだ追い付けない。

开形鋼

- ① 前月比で売上高、数量、粗利はやや伸びるも、前月比営業日数3日増によるもので、一日当たりの各数値は横這い。新年度に入ると民間設備投資や公共投資がある時期まで空白になるが、引き続きメーカーのコストプッシュパワーと市況との絡みが気になるところ。

I-I 开形鋼

- ① 3月の倉出しはプラスで、前年同月比もプラス。例年、3月は年度末でマイナスになる月だが、300サイズ以上で増加。全体的には一服感があり、足下の工事は少ない。値上げ玉が入荷しており、転嫁していく。

異形棒鋼

- ① 荷動きの停滞により価格転嫁が進まず、採算が悪い。新しい物件が少なく、新規成約は少ないので、「3月度メーカー投入量の増加」というのは実感が無い。
- ② 単価の高騰により引合い減。値上げがユーザーに浸透すれば稼働が増加し出荷数量も増加すると予測する。

平鋼

- ① 年明け以降、荷動きは低位安定。建築関係の需要は今後も継続し有ると思われるが、忙しさは無く実感が持てない。価格転嫁は時間がかかるが継続して進めていく。
- ② 2月と同じく物件のデリバリーが目立つ程度で、店売り定尺は良くない。

車量開形鋼

- ① 店売りの苦戦が続いているので、そろそろ回復してほしいものだ。
- ② マンション向けがやや出荷増。他製品は横這い又はやや減少で、未だ好況感無し。
- ③ オリンピック需要に期待。
- ④ 価格の上げ基調が市場に浸透し始めたところで荷動きが急速に鈍くなり、ユーザー側の抵抗が再度強くなった感がある。都内の大型工事は活況になりつつあるが、中規模以下の現場の荷動きは、まだしばらく低迷する見通し。

鋼管

- ① 前月比横這い。メーカー値上げ及び経費コストアップによる販価見直しは継続。
- ② 2月は好調であったが、2月末から3月にかけて低調で推移。土木関連以外は荷動きが悪く、価格転嫁に苦慮している。

構造用鋼

- ① 需要動向については、自動車関連・建設機械関連及び産機関連を中心に堅調な動きが続いており、しばらく続くものと思われる。メーカー生産が繁忙状態にあり、需給もタイト感が増している。流通在庫についても適正水準以下のレベルとなっている。店売りの荷動きは活発とはいかないが堅調な水準で推移している。市況については、メーカーの原料高さらに副資材の価格上昇による値上げ実施に伴い、4月より値上げを実施しており、さらに6月も追加値上げを実施していく。
- ② 先月より数量は増えているが、稼働日数の関係で実感はない。各メーカーの追加値上げに伴い、再販価格の値上げを実施している。

鋼材全般

- ① 2月よりは3月の方が日当たりでも若干良かった。2月が悪かった分だが、昨年と比べると数量、収益とも大幅減だった。3月も思っていた以上に良くなく、値上げに苦慮した。

その他

<スクラップ>

- ① スクラップ市況は、月末より弱含み。4月にかけて続落しそうだ。

<金属表面処理加工>

- ① 3月は付加価値の高い作業を予定していたこともあり数量、売上高とも大幅増となった。スポットは変わらず引合い、受注も活発でしばらく続きそう。4月も紐付き・物件物も安定していることから高いレベルでの操業で推移しそうである。運送手配において、地方への車両手配が難しくなっており、運賃も上昇。